

アメリカ合衆国大統領 バラク・オバマ 様  
内閣総理大臣 安倍晋三 様  
外務大臣 岸田文雄 様  
防衛大臣 小野寺五典 様

2013年8月6日  
新日本婦人の会  
会長 笠井貴美代

## 米軍ヘリ墜落事故に抗議、全容を徹底究明し、 県内全米機運用の即時停止、オスプレイ機の全機即時撤去をつよく求めます

8月5日、沖縄米軍ヘリ HH60 が米海兵隊演習場キャンプハンセン内に墜落・炎上した事故につよく抗議し、県内全米機の運用をただちに停止し、全容の徹底究明を求めるものです。墜落場所は民家からわずか2キロの場所であり、上空を米軍機が四六時中、飛びかうのもで暮らす沖縄県民の不安と恐怖がまたもや現実のものとなり、その衝撃と怒りははかりしれないものです。また、住民の目の前で起きた事故でありながら、米軍基地内ということで事故の情報がほとんど知らされず、日本政府が抗議どころか、米軍の情報待ちになっていることほど屈辱的なことはありません。国民・住民の生命と財産を守るべき主権国家をおとしめている日米軍事同盟の害悪を改めて浮き彫りにしています。

事故は、普天間基地へのオスプレイ追加配備の抗議集会のさなかに伝えられました。昨年配備を強行した米海兵隊新型輸送機オスプレイ12機は、人口密集地であろうが学校や保育園上空であろうがおかまいなしの傍若無人な飛行を繰り返し、住民は「いつ落ちてくるか」と不安を募らせています。日本政府が「日米合意違反はない」の一点張りの卑屈な態度で、住民を日々危険にさらしていることは許せません。

新日本婦人の会は、子どもたちや女性、住民が安心して過ごせる平和な暮らしを求め、米軍ヘリ墜落事故にあらためて抗議し、県内米機の運用停止と事故の全容の徹底究明を求めるとともに、オスプレイの追加配備をただちに中止し、すでに配備されている12機も含め、全機即時撤去をつよく求めるものです。